

昭和医科大学烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第 2 1 3 号

[2 0 2 5 年 5 月 1 2 日]

ギャンブル依存症研修会について

常岡 俊昭

当院はギャンブル依存症の拠点病院で薬物依存症の専門病院となっています。拠点病院では援助者に対しての研修を行う事が義務付けられており、当院でも3月6日・7日と研修会を行いました。当院では「依存症治療は病院だけでは完結しない」と考えて様々な社会資源と連携しています。研修でも当院の西田看護師・宮本看護師・古屋薬剤師・石山PSWの他に自助グループ(GA)や家族会、回復施設の方々や昨年度研修を受けた訪問看護師などに講師を依頼しました。また当院に入院経験のある当事者や、ギャンブル障害であることを武器に相談員として働く方にも講演をお願いし、医療者から見た依存症治療だけでなく、当事者達から見た医療や援助者に求めるものを参加者で共有しました。当事者・医療スタッフが模擬患者・模擬家族を務めてのロールプレイを行いそれぞれの職種・立場からくる声のかけ方を勉強し、研修を行う側も得るものが大きい時間でした。当日はオンラインで6名、対面で9名が参加しました。研修後には病院見学会も行いましたが約60名の方に参加頂けました。

依存症治療と言うと暗い中で自分と向き合い辛い試練を乗り越えてというイメージがあるかもしれませんが辛い事だけでは治療は続きません。明るく地域の方々と連携しながらみんなで回復を目指す当院の依存症治療を知っていただければと思っています。

その一環として5月29日(木)18時~20時で公開講座を行います。今回は当院に繋がった後にそれぞれの社会資源に繋がった当事者に自分たちの体験を話してもらおうと思っています。AA、断酒会、NA、GA、女性ダルクフリッカ、渋谷ダルク、カハナ、作業所SUN、作業所すとおりの、RDデイケアセンター、ギャンブル依存症当事者支援部、同家族会の話聞けるはずです。ハイブリッドで行いますのでお時間のある方はぜひ下記から申し込みください。皆さんに会えるのを楽しみにしています。



ギャンブル依存症研修会

☆ A3 病棟看護師 西田 歩未

スーパー救急病棟での患者、家族へのかかわりについてお話させていただきました。入院の窓口となるスーパー救急病棟にはさまざまな状態で入院してきます。治療に前向きな人、そうではない人、中には希死念慮を抱えた人も。またその家族はとても疲弊しています。私たちのかかわりが患者、家族の回復の一步となれたらと思います。

☆ 作業療法士 田崎 なつめ

4月7日に行われたギャンブル依存症研修会で院内で行っているプログラムについてOTの視点から発表させて頂きました。今回で、2回目の研修での発表でしたが、毎回、多数の病院や施設のスタッフの方とつながることが出来ています。そこでできたつながりで、院内のプログラムにお越しいただくこともあるため、プログラムの質の向上にも役立ち、良い相互作用となっています。

☆ 薬剤師 古屋 宏章

依存症の薬物療法について普段の思考・行動を振り返ってお話ししました。

初心に帰るよい機会であり、「ギャンブル依存症自体を治す薬はなくても治療の助けになるだろうし、薬物療法の選択肢を持ってもよい」という、治療に関わっている（これから関わる）薬剤師への言葉をいただけたことをとてもありがたく思っています。

☆ B4 病棟 看護師 宮本一磨

自助会参加や患者交流を深める治療へのメリットについて、病棟案内でお話をさせて頂きました。

昨年度の開催より多くの参加者がおり、世間での関心の高まりを感じる事ができました。

ギャンブル依存症に関わって約1年とまだまだ経験も浅いですが、学んだ事をまとめる良い機会になりました。

☆ 精神保健福祉士 石山 瑞穂

ギャンブル依存症の患者さんは、様々な問題を抱えて入院してくる方が多いです。精神保健福祉士として、退院に向けて生活面、経済面の必要な社会資源をご案内することもあります。依存症の患者さんは困りごとを相談するのが苦手な方が多いので、自分から相談できるようになるのも大事な治療になります。なるべく沢山の仲間に相談すること、相談相手の一人にソーシャルワーカーもなれるよう心掛けていることとお話しさせていただきました。

患者満足度調査結果について

事務課

当院では、医療サービスの向上に努め、皆様の意見と要望を基に病院運営の改善を図ることを目的に毎年、患者満足度調査を実施しております。今年度は、2025年2月26日（水）から3月5日（水）の期間で実施しました結果についてご報告させていただきます。

当院では、病院の患者満足度を示す指標として「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点になりますか？」という設問を設けております。外来では昨年度より4ポイント高い77点でした。昨年度よりも高い点数となりましたが、患者さんより「受付の待ち時間や呼び出しの音声、システムについての改善要望」に関するご意見が多く寄せられました。今後、電子掲示板による案内の導入をする予定でございます。

また、入院では、昨年度より1.5ポイント低い72点でした。中でも、「入院・検査時の医師への相談のしやすさ」に関する項目が昨年度よりも低く、相談のしやすい環境整備が必要であるという結果でしたので、こちらを改善できるように精進いたします。

以上が調査の結果でございます。本調査にご協力いただきました入院患者さん93名、外来患者さん358名の皆様、誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

これからも、患者さんが快適に受診できる病院を目指してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

調査概要

【外来】

調査日	2025年2月26日（水）～2025年3月5日（水）
調査方法	病棟ごとに調査票を配布し、無記名無回答方式による。

【入院】

調査日	2025年2月26日（水）～2025年3月5日（水）。
調査方法	外来受付で調査票を配布し、無記名無回答方式による。

デイケア活動

M・Sさん

木曜日のサーズデイについて紹介します。

デイケアではASDグループやADHDグループなどの発達障害専門プログラムを複数行っていて、サーズデイもその中のひとつです。

毎週木曜日の午前中と隔週午後に行っています。

プログラムの内容としては、午前の内容は1分間スピーチなどをやっています。午後の内容は担当スタッフを含めた参加者全員で、その日のテーマを決めてプログラムを進行しています。

先月の午後のプログラムではプラバンでキーホルダーを作りました。

自分で描いた絵の下書きやイラストのコピーを使って絵を描きます。透明なプラバンを絵の下書きの上に敷いて絵を描きました。そのあと、絵を描いたプラバンの裏側からカラーペンと色鉛筆で（使用する場合は紙やすりでこすってから）色を付けていきました。



オーブントースターで焼く工程では、600wに設定して1分以内で取り出し、紙の上においてからすぐに重い物を載せてプラバンを固めました。各自、2個作りました。

皆の作品は個性があったり、色合いや絵柄が綺麗でした。

私自身の出来としては、1回目はうまくいかなかったけれど2回目は綺麗にできて良かったです。楽しかったので、また作りたいです。

まだ数回しかこのプログラムに参加していないので、これからも積極的に参加して他の人とも交流を深めていきたいです。（M.S）

《3月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,379(7,721) 6,445(5,808)

◇一日平均患者数 270.3(275.8) 257.8(264.0)

◆診療実日数 31(31) 25(22)



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～17時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5231

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時

土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



【編集後記】

本号では「ギャンブル依存症対応研修会」と「患者満足度調査」についてご報告いたしました。

ギャンブル依存症は、未だに誤解や偏見が根強く残る分野ではありますが、今回の研修会では、地域の方々や関係機関と連携しながら、明るく前向きに回復を支える姿勢の大切さをあらためて感じることができました。依存症治療はもちろんのこと、当院が提供する医療全体においても、こうした「人と人とのつながり」の中で築かれる支援のかたちを、これからも大切にしていきたいと思っています。

また、患者満足度調査では、ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。一つ一つ大切に受け止め、今後の医療サービスの質向上につなげてまいります。

5月に入り、街のあちこちで色鮮やかな花々が咲きはじまりました。木々の緑も一段と濃くなり、風の匂いにも初夏の気配が漂いますね。そんな中でふと足を止めて自然に目を向けると、忙しい日々の中にも、小さな癒しや喜びがあることに気づかされます。

とはいえ、急に暑くなる日もあり、まだ体が暑さに慣れていない方も多いかもしれません。どうか皆さま、無理せずご自身のペースで、心と体を大切にお過ごしください。

（広報委員 五十嵐 美紀）

